発行所
三池炭鉱労働組合
大牟田市不知火町2
電話 3033 7140番
編集兼発行人　境　政

十二日の荒尾市長、市議選挙には全員投票して勝利しよう。政策変更、離職者の完全就職にも重大な影響をもっています。知人、親戚にも呼びかけ、みんなで全力をあげましょう

差別排除の団交を開始す

会社の態度を追及し要求説明

第一回団交

就労後から今日にいたるまで、組織切りくずしをねらった会社はあくどい差別をわれわれの上におしつけてきている。組合では差別の実態を詳細に調べあげ、会社が中労委のあっせん並びに協定を不履行して恥じない態度を追及し差別排除のため、団体交渉申入れを要求書とともに去る一月二十三日行なったが、その第一回団交が三日ひらかれた。この日、組合は会社の態度を追及するとともに、差別の実態を具体的に説明した。

組合では二月三十三日八項目にわたる要求書とともに団体交渉の申入れを行なったが、その第一会議室でひらかれた。冒頭、灰原書記長と宮川組合長は、団体交渉が三日午前十一時から本社第一会議室でひらかれた。

会社が中労委あっせん並びに協定を一方的に不履行して、三池労組の組合員に、卑劣な差別をおしつけていることをはげしく追及した組合「誠意をもってとりきめた中央協定を、会社は義務を果たさないのみな、逆に履行しなくてもよいような宣伝さえしている。どういう気持ちでいるのかこの点をはっきりせよ。また組合に何の相談もなく坑内に請負を入れているがどうして組合に相談なしで一方的にやったのか、その理由を説明して貰いたい。中央協定の履行について、われわれの方に間違っている点があるならハッキリと指摘して貰いたい。だが、会社もその間違いを反省し改めよ」

会社「組合では何かわれわれが特別に差別をしているようにいわれているが、誤解されている点もあるようだ」

この日組合からは、要求書にもとづき、各支部から具体的な差別の実感を会社に説明し、この日の団交を終った。

会社側は「誤解されている点もあるし、今日説明された点について調査をして、あらためて交渉しましょ」と回答したが、こんどの日程については現在折衝中である。

組合では山元の団交を重視しており、鋭意交渉をつづけて、一日もはやく解決をはかる決意である。このため、早期に次回の交渉をきめることにしている。

団交では協定不履行を激しく追及した（向う側組合代表）

国会でも追及する

差別に憤る総評調査団

三池の就労前後、とくに差別や切りくずしの実態を調査するための「総評調査団」が二月一日正午来組した。この調査団は総評本部種橋法対部長をはじめ名田全国オルグ、炭労、全運、合化、全鉱、自治労、全専売、私鉄、全金属や中立労連、それに九本からと諏山弁護士ら十三名である。

調査団は組合本部に到着とともに直ちに記者会見を行ないつぎの点を明らかにした。

三池の差別について直接に組合員、主婦から話を聞くためにやってきた。三池のその後の状況はどうなっているかと、国内はいらにおよばず国際的にも声が高くなってきた。調査の結果を炭労大会に報告し、統一闘争の方針をきめるとともに、政府に対しても国会で追及し、合同調査団の申入れを行ない、雇用のテンポも早める決意である。

この調査で三池闘争を収拾するということではなく、国内のあらゆる層にひろめ、三池を守る会にも徹底的に報告し春闘を軸としてひろげる。三池闘争にどう結着をつけるかということで総評の信を問う気持ちで積極的に取組んで行く。

組合員、主婦から詳細に聴取

調査団はこのあと組合から詳細な説明をきき、たたちに港務、本所に分かれて調査にあたり、翌三日は三川、宮浦、四山の各支部に、また主婦との懇談会などもち、現地の事情をつぶさに調べ上げた。

調査団は調査をすすめるにつれ、あまりにもひどい差別の実態になかばあきれ返り憤っていたが、調査の結果をまとめて、同夕六時から記者会見を行ない、つぎのようなこんどの方針を明らかにした。

協定の不履行だ

総評では今まで三池の争議は一応終ったものとして就職の方にウエイトをかけてきたが、中労委あっせんならびに協定を会社は不履行のまま極端な差別を出している。調査団としては調査結果を炭労大会に報告するとともに、十三日ごろ総評評議員会をひらき、差別問題を産別の方向に発展させる。

一、協定が守られていない以上、中労委に直ちにあっせん以降の実態の調査を申入れる。

二、公然と不当労働行為がある。石田労相に行政指導を申入れ、合わせて速かなる就職を要請する。

三、社会党を通じて社労委に提示してもらい、証人尋問とともに社労委の超党派的な調査派遣を申入れる。

四、差別による賃金の減収が甚だしい。下級職制の手加減一つで組合員の配役、即ち賃金がどうにでもなる。これが三池の実態だ。炭鉱賃金の実情は根本的な検討が必要であり、最低賃金制が確立されねばならない。不当な賃金、労働条件の切下げを阻止するため炭労、三鉱連とも話合いをもち春闘における賃上げ闘争を推進する。

五、ハッパをかけたらすぐ切羽に入るなど保安法が実施されていない。保安問題については人道的な立場をふくめ、通産省保安監督局に現地の実情をどう調査しているか申入れを行ない、明確にする。

六、大幅な賃下げによって子弟の高校進学断念も起きている。子弟の高校入学には総評がこんど援助するよう具体的に対策を立てる。

七、一・二〇〇名の就職について、は、中央で考えていたことは甘いと現地にきてみて痛切に感じた。総評あげてもっと取組む必要がある。また家族向けの物資援助も必要であり、内部における組織問題とともに、家族に対する援護活動を大々的に二月から三月の段階で全国的に大きく訴えて行きたい。

さらに三池を守る会を強化し、三池の実情を絶対のものとしてとらえて行く。

八、不当労働行為については、山元の団交で解決できない場合は民事訴訟を起こす。このため、総評弁護団会議を今月中に招集する。

以上のような内容を発表した。調査団はまた、総評が三池を最後まで支援するならこれからが重要だということを知っている。いろんな意見があろうが、こんどこの方針をつらぬいて行くと固い決意を表明した。

不当な差別は全労働者の敵である。調査団はこんど強力なたたかいをすすめ、三池支援に立ち上ることとなった。

港務支部で組合員から説明を聞く調査団

再び革新市政を

地福、坂本候補を落すな

荒尾市長、市議補選は二月一日の告示いらい、いま保守派を向うにまわして激しいたたかいをすすめている。

告示とともに荒尾市では荒地評さん下の組合員、農民が参加して、二月一日午前九時から地福候補（市長）坂本候補（市議）の出陣式をおこない、選挙戦へと突入した。十二日の投票日まで、激しいたたかいをくりひろげるわけである。

三井の独占資本と資本家の代弁者である自民党は市長に古閑、市議に青山両候補を立てて何とか革新市政をつぶそうと躍気になっているが、職組や第二組合もこの選挙では仲よく保守派と手を握って保守候補を推している。労働組合でありながら全くあきれたことであり、その本性をものの見事にあらわしてきた。市長候補の古閑氏は前回も坂田市長に対抗して自民党公認として市長選に出たが敗北、今回は第二組合や職組をまきこむため無所属で出馬している。全く節操がない話である。

会社はお得意の切りくずし戦法でさかんにこの十二日まで活動することは明らかであり、われわれは故坂田市長の遺志をついで革新市政を目指し、労働者、農民、中小商人、市民のためにたたかっている地福候補と坂本候補の当選をかちとるために、ガッチリと組織の票をかためて、がんばらなければならない。

たたかいはすでに終盤戦である。革新市政の確立こそが組合運動をさらに前進させることになり、そしてそれが社会主義社会を目指す大きな基盤になるのである。

われわれは荒尾市民とたたかった三池闘争での誇りを、この選挙でも見事発揮させなければならない。全員が棄権をせず、団結をかためて両候補の当選までがんばろう。

十二日の投票には全員もれなく投票しよう。選挙の結果は政策変更と一、二〇〇名の仲間の完全就職に重大な影響をもっている。棄権防止はもちろん、知人や親戚に葉書で呼びかけ、投票日までみんなで全力をあげよう。

激電

産業全体の企業合理化の攻勢のきびしい中で、又組合員間の差別待遇のはげしい中で、なおがっちりと団結を守り、労働者全体の生活条件の向上のためにたたかう炭労と三池の同志にたいし、心からなる感謝の意を表し、激励の拍手をおくると共に、われら全鉱五万組合員も共にたたかうことを誓う。

全鉱第三六回全国大会

みいけ日誌

1月29日　春闘討論集会（二日目）

30日　中国総工会代表団が来組。三川支部団結館でけい肺懇談会。就職対策＝運転手会議。熊本公判＝31日まで熊本刑事事件。2月1日まで荒尾簡裁で第一回公判（緑ガ丘社宅事件）。

31日　九本福岡県各支部代表者会議。同資本別代表者会議。

2月1日　荒尾市長、市議候補の出陣式。宇部24時間ストに突入。九本第二回政策変更対策委。就職対策＝3日まで自動車企業講習会。

2日　総評調査団十三名が来山、3日まで調査に当る。

3日　差別排除第一回団体交渉。炭労代議員出発。就職対策＝荒尾鬼拓調査。

4日　貝島24時間スト突入。